

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

## 事業名 外国人患者受入環境整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医事係 電話番号：058-272-1111(内 3240)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,400 千円 (前年度予算額： 2,400 千円)

### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	2,400	1,200	0	0	0	0	0	0	1,200
要求額	2,400	1,200	0	0	0	0	0	0	1,200
決定額	2,400	1,200	0	0	0	0	0	0	1,200

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県における在留外国人数は、約6万人で、外国人患者の医療機関への受診も増えている。また、コロナ禍にあっては、在留外国人の新型コロナウイルス感染事例も発生していたこともあり、医療機関において多様な言語に対応する必要性が一層高まっている。しかしながら、医療機関にとって全体的には外国人患者は少数であり、多様な言語に対応することはコスト面からも困難なことから、医療通訳の積極的な雇用や外国語に対応するサービス導入が行われにくい。

医療現場におけるコミュニケーション不足は、診療時間を長引かせるのみならず、感染症感染など医療事故の原因にもなりかねないため、行政による外国人患者の受診体制の整備を引き続き推進していく必要がある。

### (2) 事業内容

#### 【対象経費】

- ①新たな医療通訳の雇用に係る人件費(試用期間を含む)
- ②医療通訳サービス等の導入に係る経費
- ③多言語対応ツール(タブレット、ポケットーク、会話集、指差しツール等)の導入に係る経費

#### 【補助対象者】

病院、外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関となっている診療所  
(実施期間は最長3年まで)

#### 【補助率等】

- 補助率：1/2
- 補助基準額：①は、100千円(1人当たり月額)  
②は、1,200千円(1医療機関当たり)  
③は、400千円(1医療機関当たり)



(3) 県負担・補助率の考え方

デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金及び旧地方創生拠点整備交付金）を充当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,400	①600千円（50千円×12か月×1病院） ②1,200千円（600千円×2病院） ③600千円（200千円×3病院）
合計	2,400	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）

1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり (2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
① 補助医療機関数		4	6	6	6	67%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・外国人患者の受入環境を整備するため、医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助を実施し、外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境を改善。</p> <p>指標① 目標：6 実績：5 達成率：83 %</p>
令和 3 年度	<p>・外国人患者の受入環境を整備するため、医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助を実施し、外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境を改善。</p> <p>指標① 目標：6 実績：3 達成率：50 %</p>
令和 4 年度	<p>・外国人患者の受入環境を整備するため、医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助を実施し、外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境を改善。</p> <p>指標① 目標：6 実績：4 達成率：67 %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、県による支援が必要である。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	令和4年度より追加したメニュー(多言語対応ツール導入経費)について、有効活用されている。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	病院および「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」に指定されている診療所のみを対象に補助している。

### (今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業終了後の継続的な雇用等
---------------------------------------

### (次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 外国人患者の受入環境整備を更に推進するため、引き続き支援を行う。
---